

豊国画



児雷也豪
傑譚九編

へ 13

3811

18

笑顔作



上

へ 13

3811

17

3 4 5 6 7 8 9 30 1 2 3 4 5 6 7 8 9 40 1 2 3

笑顏作

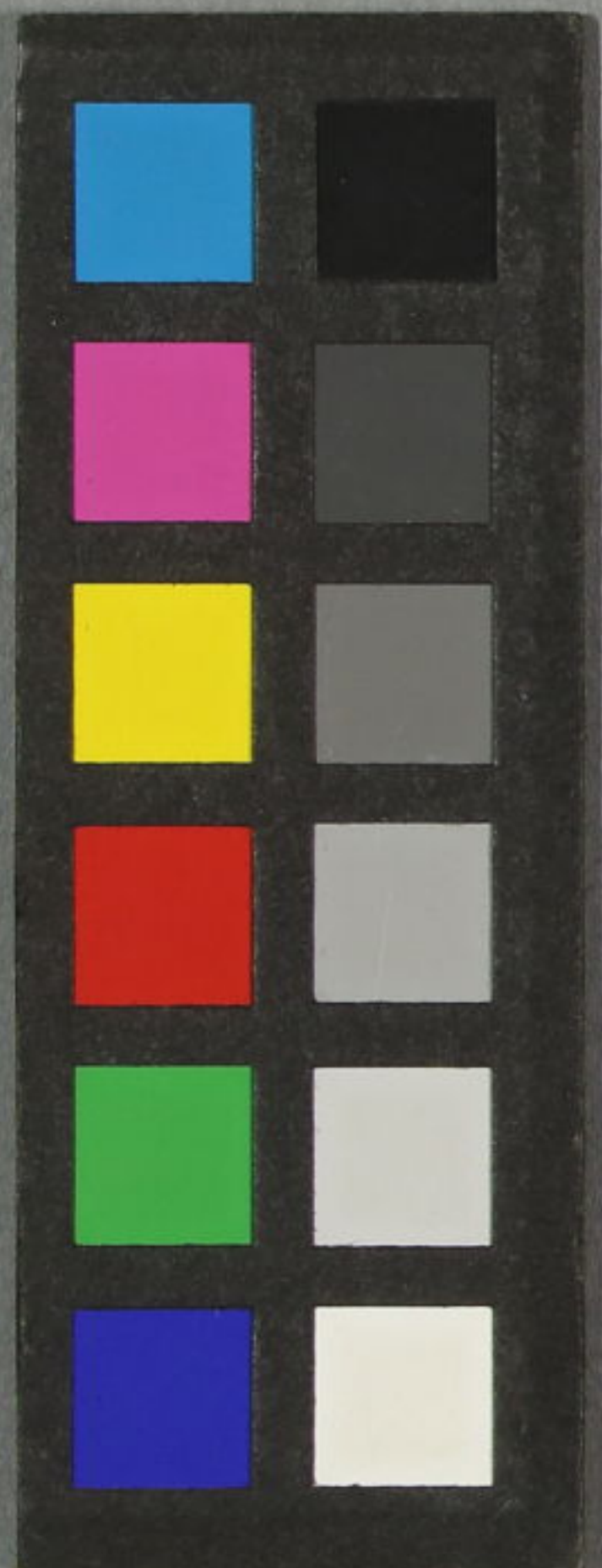


上

へ 13

3811

17



174

妖嬈

蛇怪羹

1
火雷也

家傳

孝九郎上

前後二卷

甘泉寺

吳國恒笑貌

天
樂樓書畫

弘化四

丁未歲

春
糖
成

同五戊申

年春發兌

頤
陽

江戸芝神明前之島町

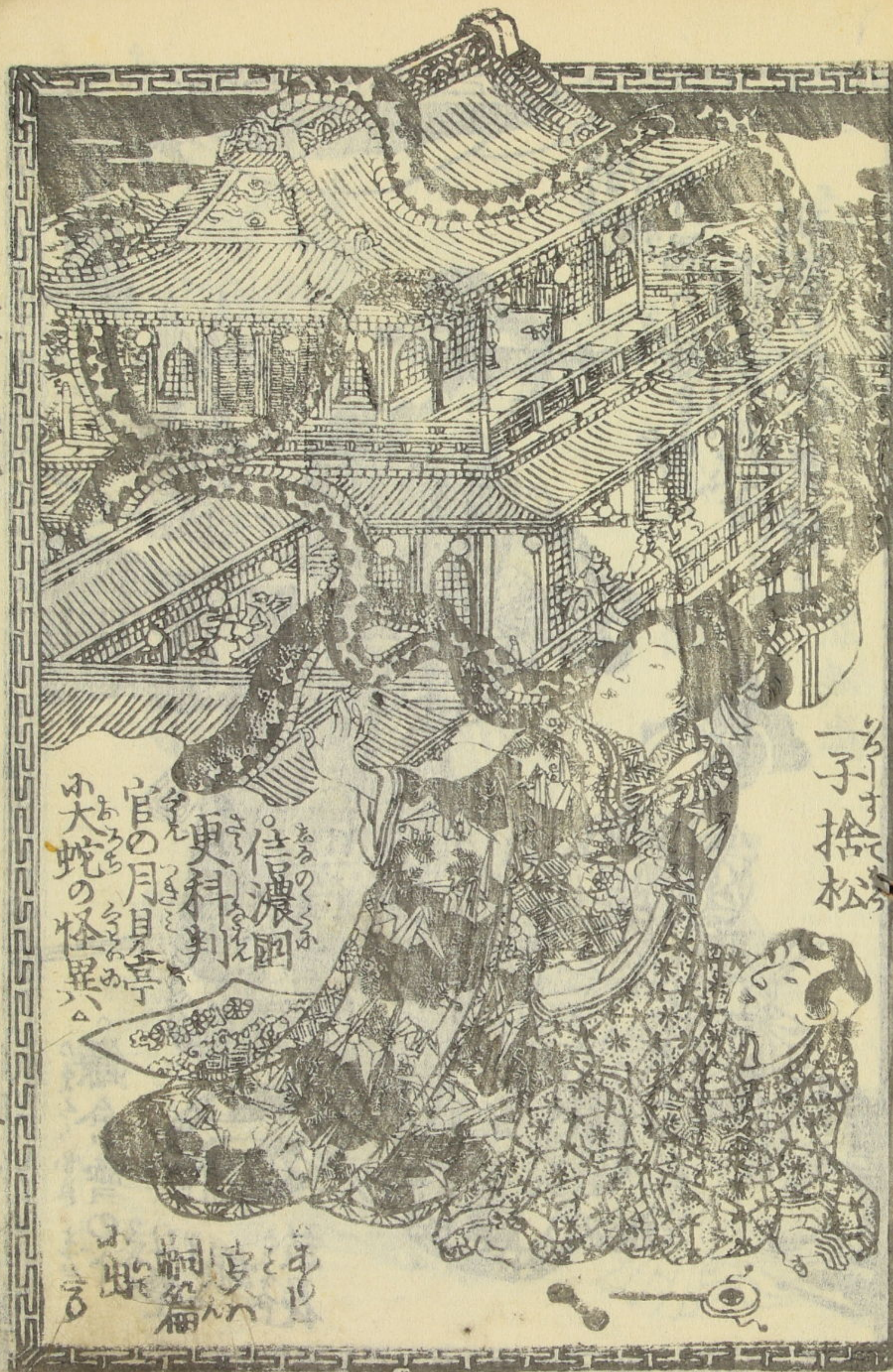
和泉屋市兵衛版

楚書曰：「楚國中以貨とす物多し。唯善以て貨とす實其善の行ひ難し。然れば古昔より聖賢も只善道を導くんとす。人の性、善と悪とあるが、道に入るは善と悪とあるが、教よと云ふも、亦善と悪とあるが、善道に入るは善と悪とあるが、論せとも、戒めこれと詰るは善道に入りて、其の理の果敢るは、冊子物語の素より是勸善懲惡の一端とて趣向を音曲演戲に擬ひ新奇妙案正風と競ひ、童蒙の伽もそとをあり抑此兒雷也。行ひ悪ふ似れとも善ふ歸まるの上とて、以て二部の趣向と爲し、夏顔子其本意もあて、荀子の教も最近し、請看編を嗣て佳境に至る必其意と心得まゝと作者の代りて

戊申孟春

一筆茶主人誌





住濃國
更科判
官の月目亭
大蛇の怪異

一子捨松

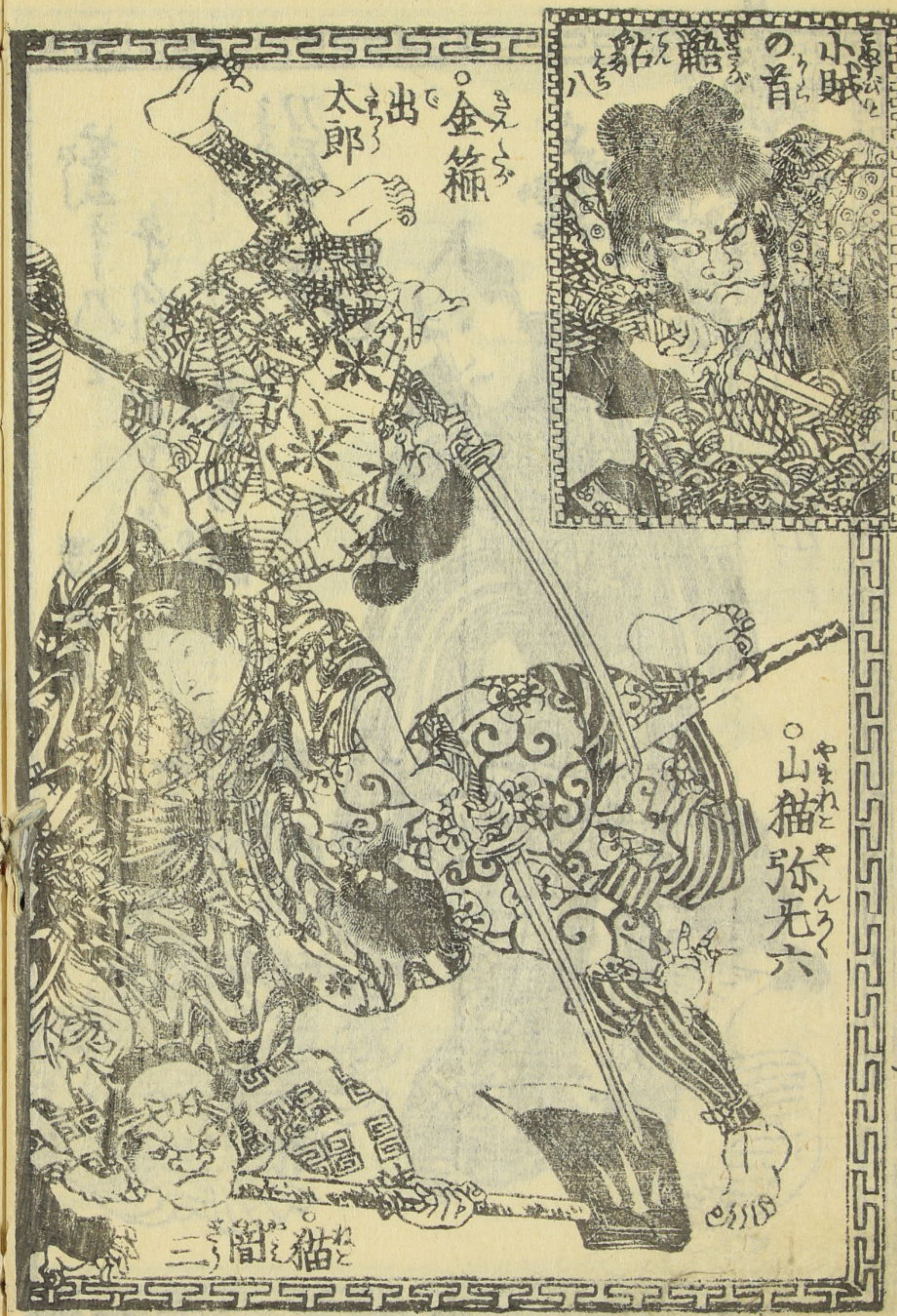
小蛇
刺編
り



黒姫山の賊主
尾形周馬弘行
他揮名し
児雷也
と云ふ

姫松
須戸太郎の





[illegible]

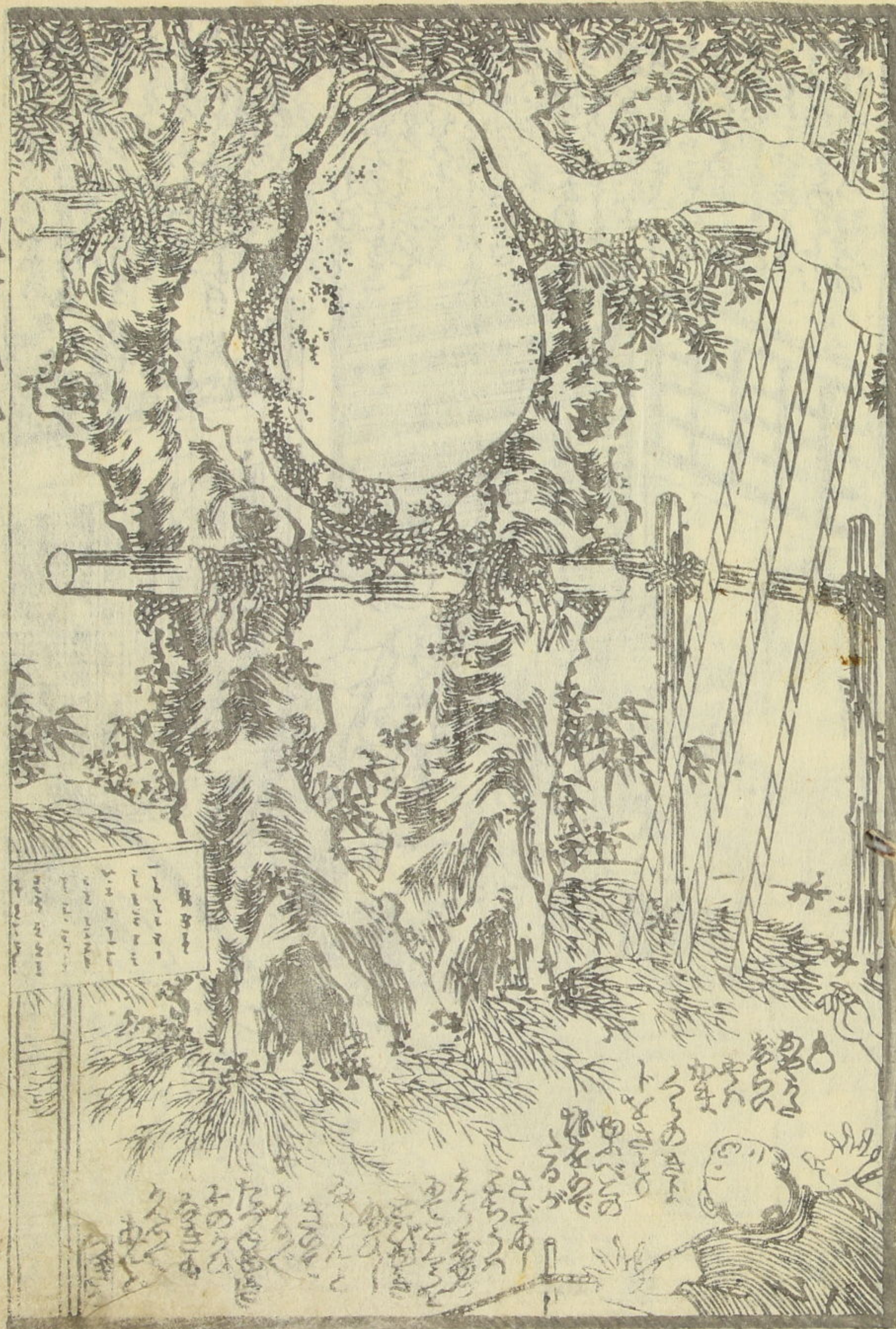
[illegible][illegible]

ひは又たのりつたむら
けのけものくまといふ
あまたつくえ二千よそいされども
あらふやとまよもたてまけんきう
さらばかたちをさすくちんぐと
るがれどてなまのふくみ
まてまりる
さてもいこしを
ろく目も
あてられぬ
ゆるぎあへん
ゆきこの見
あつていてい
足でさてもく
ゆるぎしうきう
かたよりをつれても
るわおしくなるい
つもの人きや
うんはわたりも
あじとつをのこ
えりせぬうつあ
かたつたぬるゝむら
なりやそごうわうとも
るめのやりめさは
らのあらにやりてこそ
ふさふさでておぼろけ
アキラケのやくよう
ふふふふふふふふ

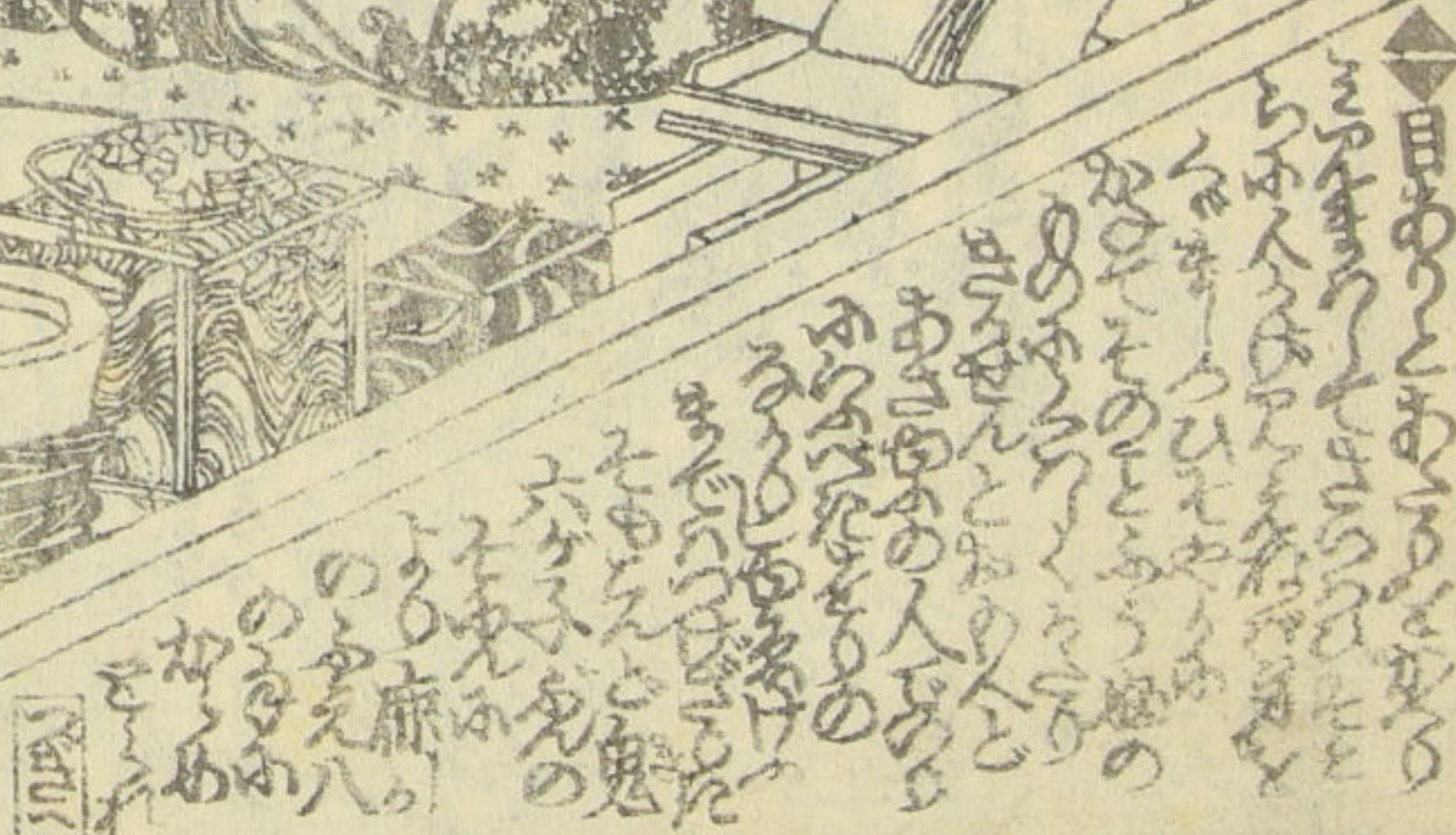


今更にこれ
 もあれがう
 うけつての
 身はあやめ
 りありけれ
 バリとすう
 てさきふ
 とすと井
 のかきお
 をとくめ
 てふりぐ
 にふより
 ありてえん
 ふちを
 まあるの
 のまもつ
 よあむを
 のべいそ
 さけき
 るをたづ
 んでい
 そつて
 るを
 まるを
 のせいの
 人びとも
 きうて





五言古詩



A black and white woodblock print illustration of a man in a kimono sitting on a tatami mat, looking down at a small object in his hands. He is surrounded by a low wooden fence and a large, ornate vase. The scene is set outdoors with a garden in the background.

[illegible]

はなもれ
小里あり
三つて
あめのも
とるのり
くやふ
ふ入る
ありこれ
さるもの
へん人々
まじりの
うき西
まじり
おつきの
かたり
もの
もと
んこ
んこ
んこ
んこ
んこ
んこ
んこ
んこ
んこ
んこ

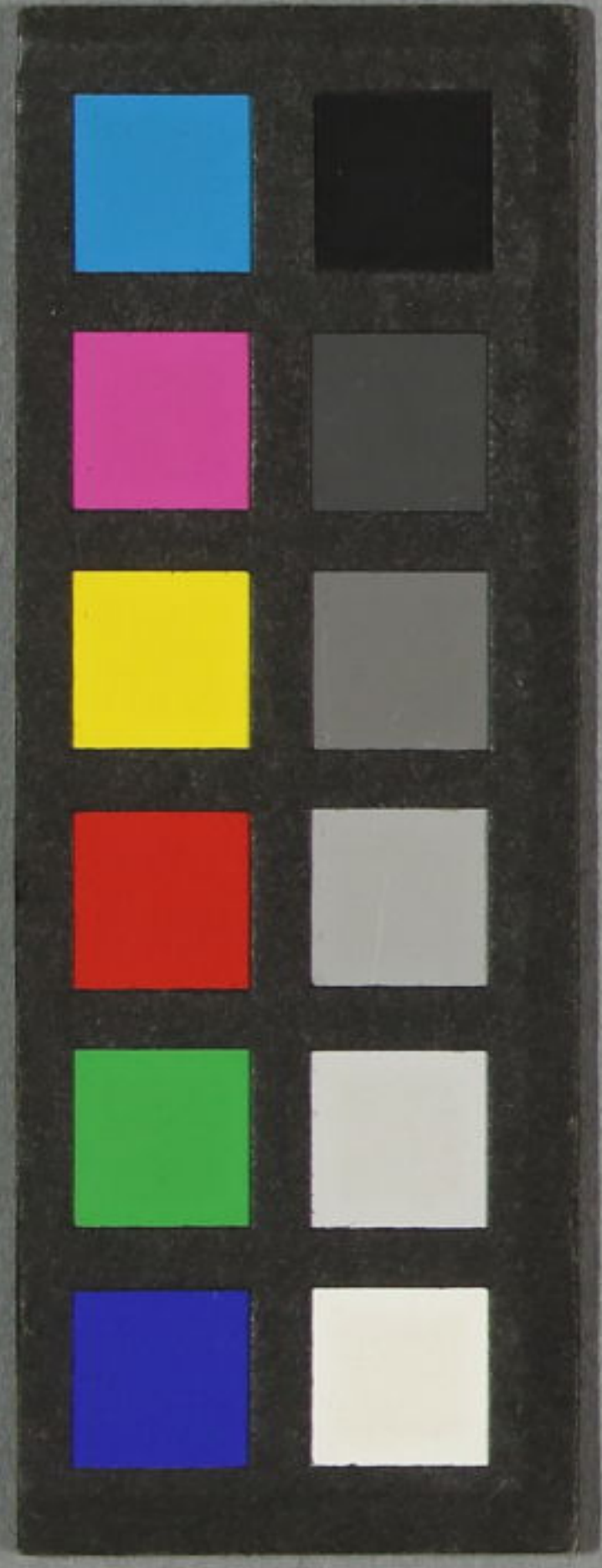


児雷也豪傑譚九編

豊国画



へ 13
3811
18



18

甘泉
堂梓

之

三

九編下卷

新
版

國書

[illegible][illegible]

一、わさあてふへ
 とらいつらうむちとみ
 むせんとてあとうく
 うらまてふ
 うらぬありき
 わりありふ
 糸又ありき
 衣もひき
 いすありき
 はんてんありき
 あはてふえ
 どのをいふや
 とあらふき
 あたらけり
 やのそふ
 かりありき
 ふせんこふ
 そふんのふ
 だいらん
 うていふ
 ありき
 とみふ
 年々いふ
 ともありき
 りてあふ
 たりふ
 まもあふ

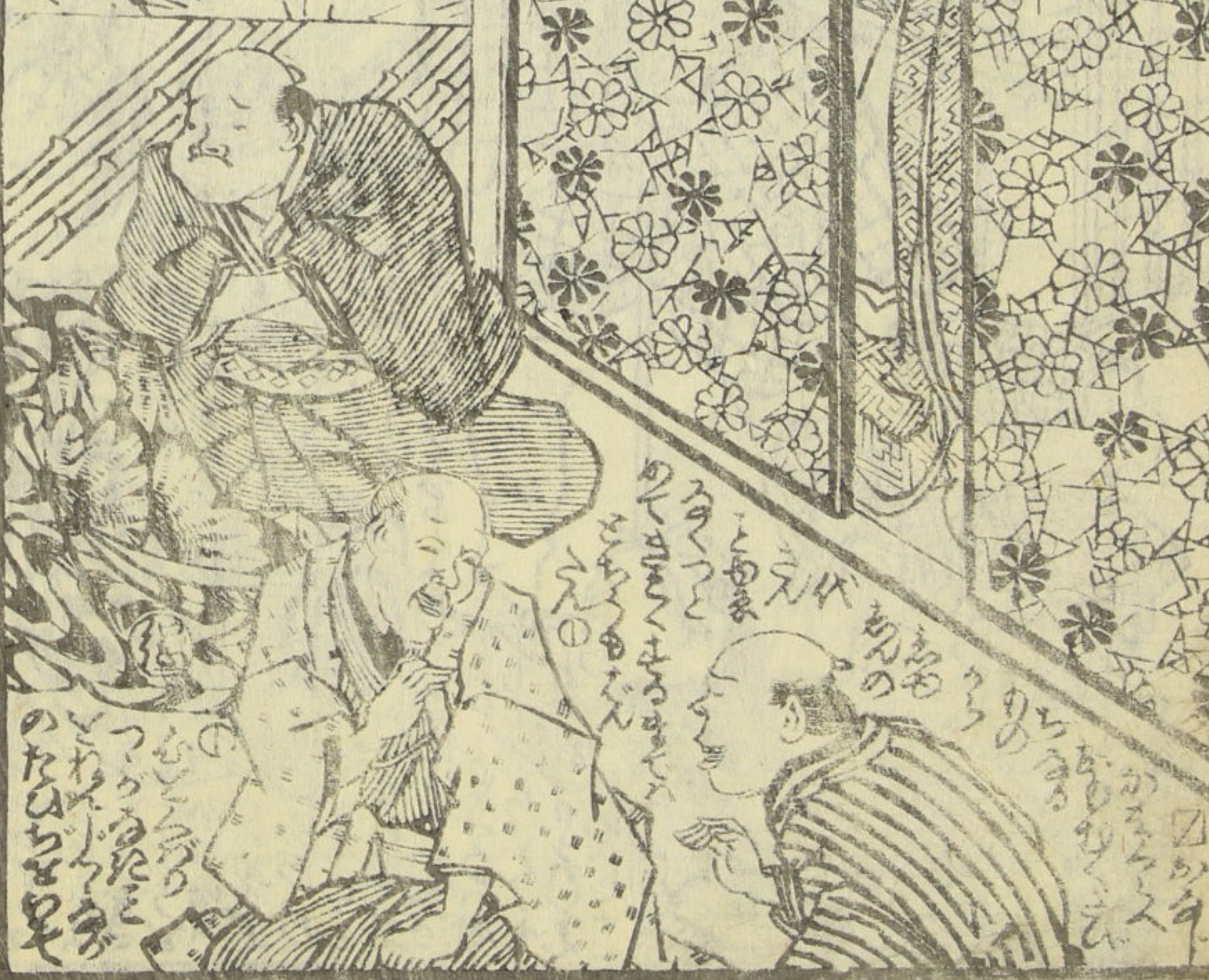


田んぼ
下駄のうしろ
きりぎりす
つとむる人々
にぶかきとろ
をさひくちと
きとの名どろや

いづれゆて名
なまの附
ちんちん
のふえ

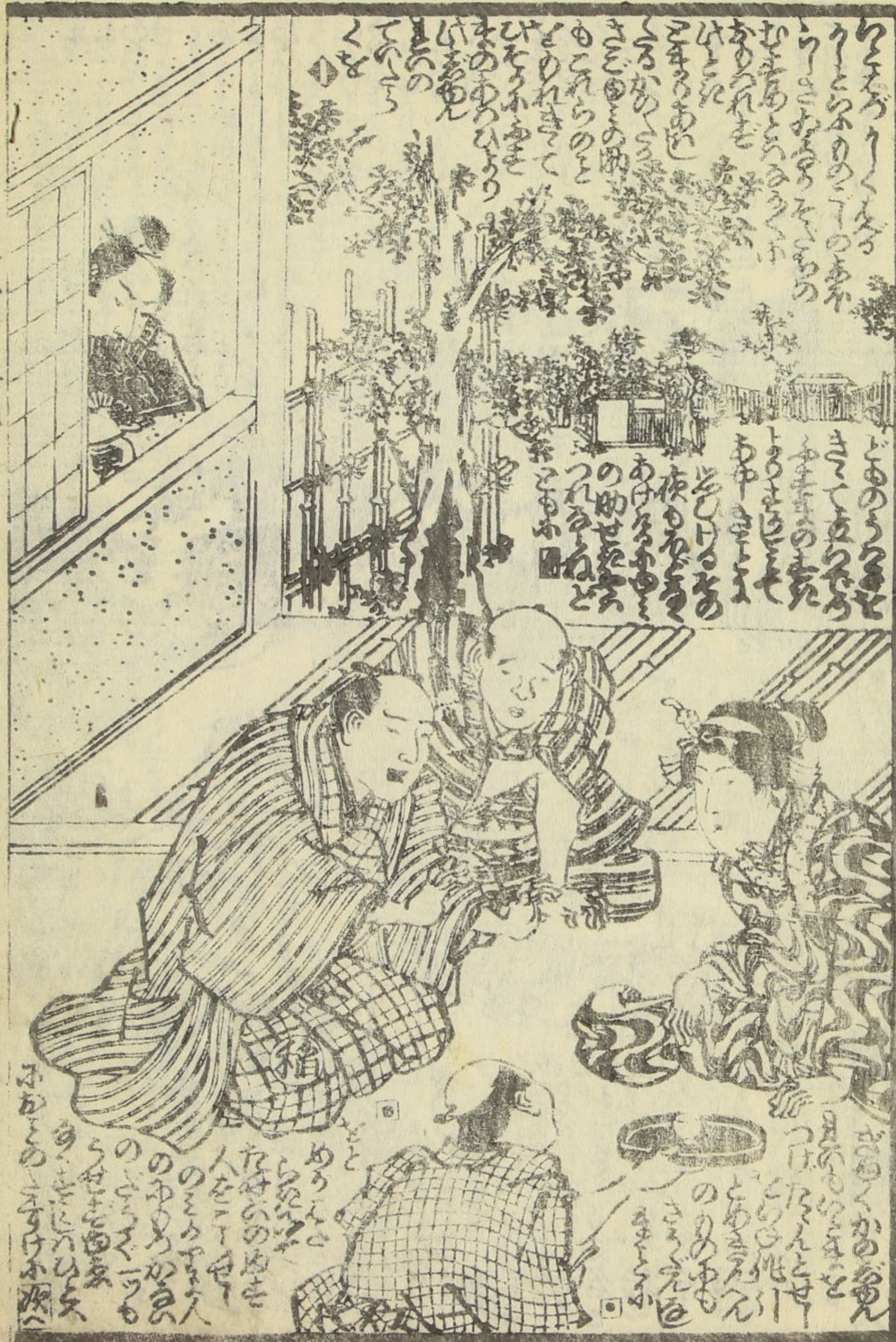
あやまち
のめさき
ておろき
てんぐと
かりぬひ
ていぬや
はらわ
あち中の
いづれゆて名
なまの附
ちんちん
のふえ

足元
 中
 女中
 世



けとろくろくろくろく
 うとろくろくのこのあや
 うとろくろくのこのあや
 ままふとろくろくの
 あつたれを
 けとろく
 こころのあや
 こころのあや
 ささめとのあや
 もこれらのこと
 とりてはきて
 ひそくあや
 まのあひかり
 けとろく
 まの
 てのこ
 くを

どのうらなせ
 まてまのあや
 ままのあや
 上のあや
 あやまて
 どこのあや
 夜もあや
 あけあや
 のあや
 つれるなど
 まのあ

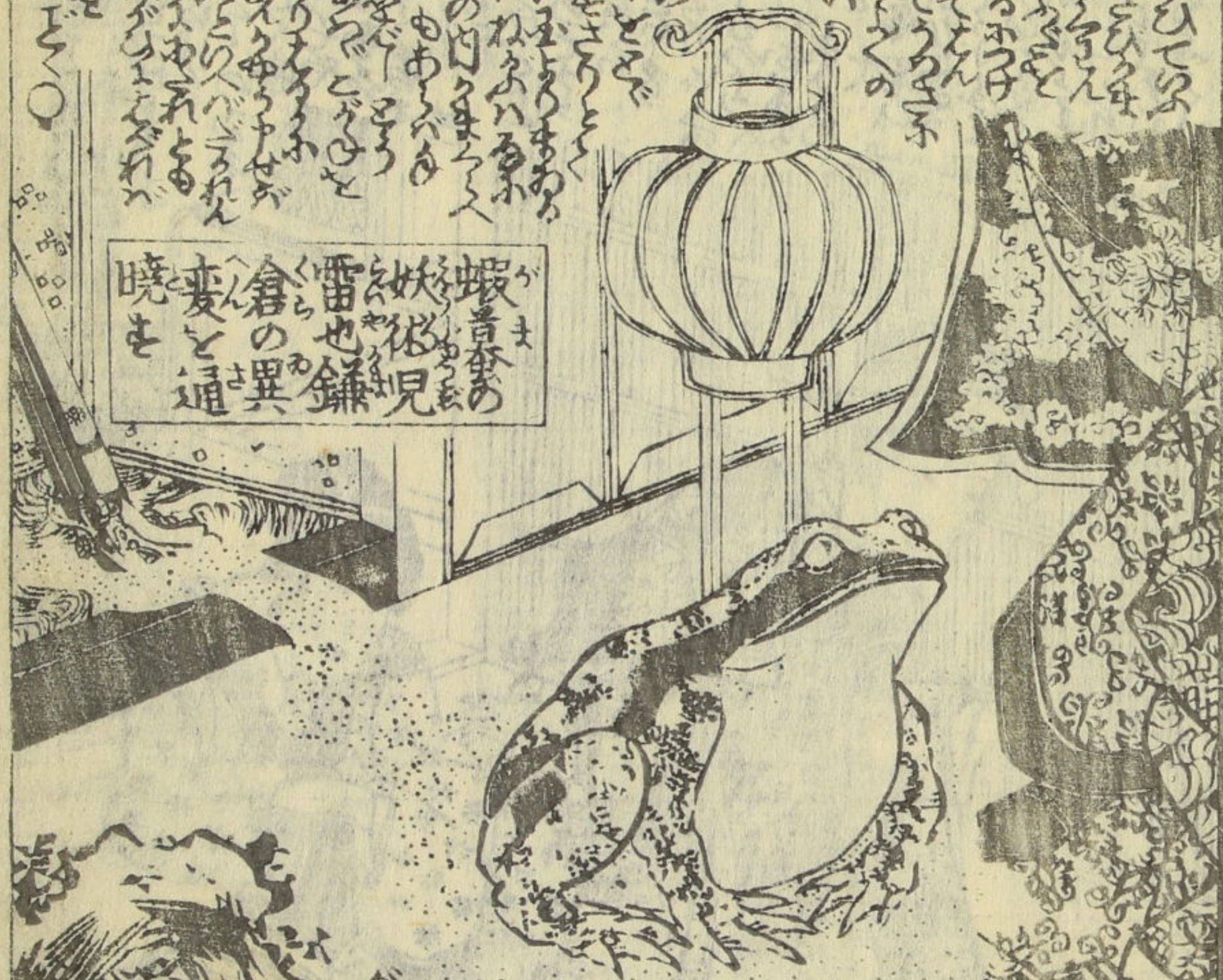


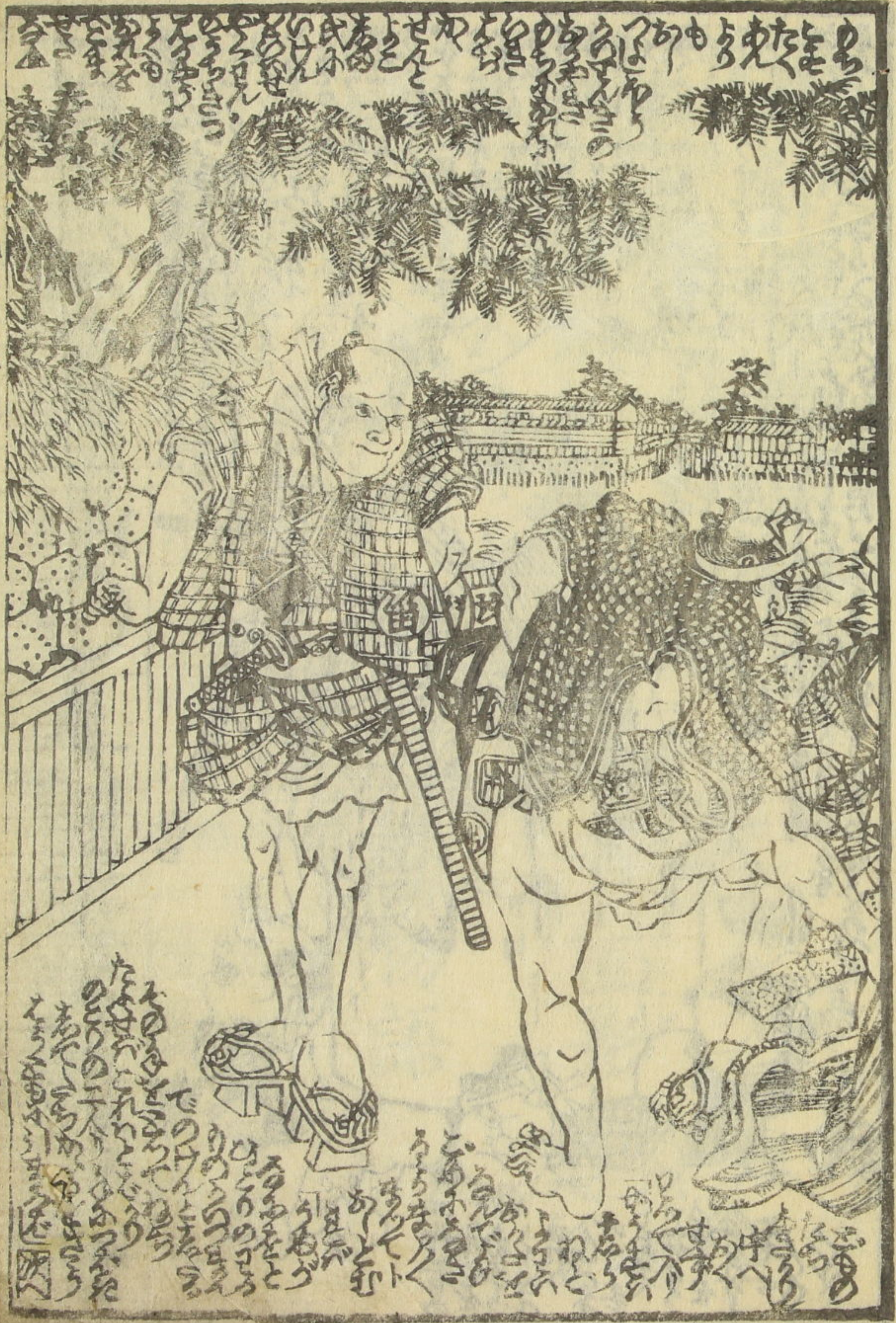
たけのこのたけを
人をこてやう
のこたけを人
のこたけを人
のこたけを人
のこたけを人
のこたけを人
のこたけを人
のこたけを人

つくれどもく
 えるものもく
 もつものもく
 ぐてんれを
 りけ入れま
 れどもく
 れのちり
 れを

[illegible][illegible]

蝦がま音おとの
妖あや術じゆつ見み
雷かみなり也や鎌かま
倉くらの異わか
変へんと通す
曉あけ

[illegible]



一陽齋豐國画○美圖垣笑顏作



兒雷也豪傑譚

廿一篇 柳下亭種員作
廿二篇 柳下亭種員作
廿三篇 一雄齋國輝画

今業平昔面影

六篇 笠亭仙果作

祥瑞白菊物語

五篇 錦朝樓芳虎画

新編金瓶梅全輯

自初編 至十編 曲亭馬琴翁作
大尾 一陽齋豐國画

書肆甘泉堂芝神明前和泉屋市兵衛版

嘉永六年癸丑孟陬發市標目

